

# ファシリテーターの紹介



たばた まき  
**田畑 真希** [ダンサー・振付家]

タバマ企画主宰。3歳からクラシックバレエを始める。更なる表現を追及するため桐朋学園短期大学演劇科に入学。様々なジャンルの身体表現を学ぶ。滑稽なまでにガムシャラに、ユーモアを散りばめながら丁寧に時間を紡ぐ作風には定評があり、国内外で活動。7カ国18都市にて作品を上演し好評を得る。近年は、インクルーシブダンス WS や作品創作、様々な世代を対象としたWSを展開し、性別、年齢、国籍、障がいの有無などの差異を超えて、誰もが楽しみながら出来る身体表現の促進を目指し活動中。

(写真=松本和幸)



たな かわ ひろ こ  
**棚川 寛子** [舞台音楽家]

演劇作品の音楽を作曲し、俳優への演奏指導と併せて行う。フランスアヴィニオン演劇祭正式招聘作品として静岡県舞台芸術センター (SPAC) 制作、2014年「マハーバーラタ」、2017年「アンティゴネ」の音楽を担当。2017年、歌舞伎座での新作歌舞伎尾上菊之助主演『極付印度伝マハーバーラタ』の音楽を担当。2018年、フランス・ゴリヌ国立劇場がシーズン開幕作を日本の劇団 SPAC へ委託した「Révélation 頭れ」の音楽を担当。他には小中学校、特別支援学校、児童養護施設等におけるワークショップや、ポータブルな本格演劇「テーブルシアター」でも活動を続けている。

(写真=伊藤華織)



みず うち たか ひで  
**水内 貴英** [美術家]

水内貴英美術制作室 (Takahide Mizuuchi Art Lab.) 運営。2001年よりプロジェクトワークやワークショップなどを中心に作品を発表している。特に、アートで実社会にどのように切り込んでいくか、場所、人、空間、歴史などを読み解きながら展開されるプロジェクトワークは、パフォーマンス、インタビューから壁画、陶器、写真、音を使ったものまで各プロジェクトによって様々で、また、長期にわたって継続的に行われるものも少なくない。

(写真=金子愛帆)